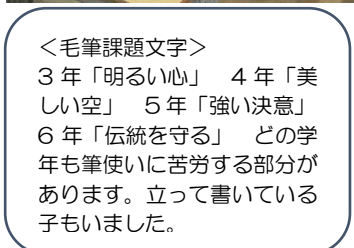


～書き初め大会～ 1.7(木)

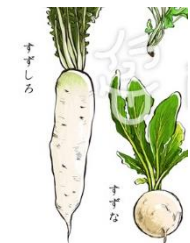


低学年は硬筆、3～6年生は毛筆です。お手本をよく見て、姿勢を正し、心を込めて一文字一文字書きます。鉛筆の持ち方はばっちりでしょうか…。

＜毛筆課題文字＞
3年「明るい心」 4年「美しい空」 5年「強い決意」
6年「伝統を守る」 どの学年も筆使いに苦労する部分があります。立って書いている子もいました。



R3.1.12(火)
NO. 33



丑年ってどんな年？ 十二支の二番目ということでねずみに蒔いた種が芽を出して成長する時、結果につながる道をこつこつと積み上げていく時、黙々と目の前の自分のすべきことをこなすことが未来につながる時です。今の日本にぴったりの年と言えるでしょう。家康を輩出した三河人は、我慢が得意と言われます。長期戦になるウイルスとの闘いを、人間の叡智で勝ち抜きたいものです！

お手伝いいただいた先生は、年女の先生です！



一月七日、三学期がスタート。始業式に、「丑」の漢字を揮毫し、牛にまつわる話をしました。子供たちに、各学年の総まとめの学期ということや「背伸びとジャンプ」ができる学期にしようという話をしました。六年生は三月十九日の卒業式まで、登校日が五十日もありません。他学年も三月二十四日の修了式まで、五十日と少し。一日一日を大切に過ごしましょう。

始業式の後、書き初め大会が各教室で行われました。どの教室でも、ぴんと引き締まった静けさの中、黙々と課題文字に向かう子供の姿が見られました。校内書き初めの展は十四、十五日の二日間、各教室の廊下に掲示されます。市書き初め展は、十六、十七日の二日間、市美術館で行われます。こういう状況下ですので、市書き初め展には入場制限があるようです。(配付されたチラシでご確認ください)

＜今週の言葉＞七日―七草 十一日―鏡開き
春の七草―せり なすな ごぎょう はこべら
ほとけのぎ すずな (かぶ) すずしろ (大根)
秋の七草 萩 桔梗 葛 藤袴 女郎花 尾花 撫子

校長室
だより
校訓 よく見る よく考える 助けあう
伸びるのだ 励むのだ
美
あ

